

## 『結婚』 過去から未来へ～ ～ 結婚の在り方、変遷としきたりをたどる ～



### 純白のウェディングドレスで指輪の交換…… 白無垢、綿帽子で三三九度……

「結婚式」は人生最大の祝宴として、誰もが憧れるセレモニーだったはずですが、昨今は価値観の多様化などの要因もあってか結婚にまつわるしきたりにも変化が訪れています。

歴史を紐解いてみると、結婚の形態は時代とともに変わってきました。

『源氏物語』の主人公である光源氏の恋愛模様からも伺い知れるように平安時代の貴族社会では男女の結びつきは男性が女性の家に通う「婿入婚」でした。しかしそれが武家社会になると、家を大切に「嫁入婚」へと変化し、そして最近では両人がそれぞれの家を出て新しい生活を始めるのが一般的になっています。

また、挙式のスタイルも昭和の主流は「神前式」でしたが、それがチャペルでの「キリスト教式」になった背景には、ウェディングファッションの影響も大きいと聞きます。近年は、“ジミ婚”と言われるように挙式・披露宴にはコストをかけないカップルも多くなり、さらには結婚そのものに関心がない人も増えていて、晩婚化・非婚化が少子化の要因の一つであるとも言われます。

今回のブリリアントクラブイベントでは、ブライダル業界の礎を築かれた通称“BIA”公益社団法人ブライダル文化振興協会の野田兼義専務理事をお招きし、わが国における結婚の変遷から最近のブライダル事情まで、縦横無尽にお話しいただきます。

これまで日本人がどのように結婚を捉えてきたかを知ることは、まさに日本の“男女関係”や“家族観”の本質を知る一端になるのではないのでしょうか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### <実施概要>

日時: 2016年7月24日(日)14時～16時

場所: 日本マナー・プロトコル協会セミナールーム  
地下鉄半蔵門線半蔵門駅1番出口から  
徒歩約2分

会費 3,000円(ブリリアントクラブ会員)  
5,000円(一般)

定員 24名(ぜひ、お知り合いをお誘いください)  
※定員になり次第締め切らせていただきます

の だ かねよし

#### 野田 兼義 氏

公益社団法人日本ブライダル文化振興協会  
(BIA) 専務理事

東京農業大学を卒業後、青年海外協力隊隊員を経て昭和44年から10年間タンザニア連合共和国のキリマンジャロ農業開発計画に国際協力事業団専門家として派遣。帰国後、様々な国際活動に携わった後、平成7年11月社団法人日本ブライダル事業振興協会設立と共に専務理事・事務局長に就任、以来ブライダル業界の中心として活躍されている。

日本ホスピタリティ・サービス産業団体協議会会長などホスピタリティ産業の“取りまとめ役”として様々な要職を務めている。



お申し込み メール (brc@e-manner.info) またはお電話 (03-5212-2600) でも承ります

**FAX 03-5212-2626**

※切り取らずこのままお送りください

お名前	同伴者 あり ( ) 名 ・ なし
携帯電話 ( ) -	メールアドレス @